

## 第71回 大阪中学校選手権大会 男子決勝リーグ 戦評

平成29年7月28日 A② 11:30	吹田市立古江台中学校	20	10	14	14		58
はびきのコロセラム	大阪市立松虫中学校	23	10	9	18		<b>60</b>

主審：石川淳也 副審：前田智広

古江台④⑤⑥⑦⑧、松虫④⑤⑥⑦⑧でスタート。古江台⑧が3Pを決めた後、すかさず松虫も⑧が3Pで応戦する。古江台が⑧を中心にターンシュート、ドライブと点を重ねたところで、松虫が一回目のタイムアウト。タイムアウト後から松虫がオールコートでプレッシャーをかけ、これが成功し、松虫④がスティールからのシュート、⑦の3Pで追いつく。対して古江台は⑧が連続で加点。松虫も⑧のドライブと合わせて⑥のシュートで20-23と松虫リードで1Q終了。2Qでは古江台が④⑧の1対1を中心に加点していくのに対し、松虫はスクリーンを使い⑦を中心に得点していく。互いに譲らず30-33と松虫がリードを保ち前半終了。

後半は古江台④⑤⑥⑧⑨、松虫④⑥⑦⑧⑨でスタート。松虫⑦のドライブシュートで点を決めるが、古江台⑧が連続でリバウンドシュートを決め逆転する。松虫は後半一回目のタイムアウトを取るが、その後もシュートが決まらず苦しい展開となる。3Q終了時は44-42と古江台がリードを奪って終える。4Q序盤に松虫⑧のドライブ、⑦のシュートで逆転する。古江台はタイムアウトを取るものの、その後も流れは変わらず、7点差まで広がる。しかし、古江台も⑤のドライブ、⑥の3Pで差を詰め、ついに⑧のポストプレイで同点となる。最後は松虫⑧がルーズボールからゴール下のシュートをねじ込み、勝負を決めた。

原辺・印南

平成29年7月28日 B② 11:30	豊中市立第十一中学校	9	22	11	8		50
はびきのコロセラム	大阪市立巽中学校	15	15	19	12		<b>61</b>

主審：南野貴志 副審：亀甲真之介

1Qは互いにディフェンスが良く、得点をとれない状況が続く。巽は⑦のドライブやセンタープレイで得点を重ねていく。対して豊中11は速攻を出すも得点にうまく結びつかない。しかし、④⑥のドライブ、リバウンドで応戦した。2Qは豊中11が④のドライブ、⑨の速攻などでリズムをつかみ、得点を伸ばす。巽は⑥の3本の3Pなどを中心に得点を重ね、互いに譲らず1点差で折り返す。

後半序盤は互いに得点が奪えない展開が続く。巽がセットプレイから④の3P、⑦のドライブなどで徐々に差をつける。豊中11は⑥のゴール下、⑧のドライブなどで応戦したが、巽が7点リードで3Qを終える。4Qは互いにディフェンスをがんばり、得点が伸びない。両チームともにハーフオフenseから得点を狙う。その中で巽が⑦の速攻から少しずつ点差を広げていく。残り2分で豊中11がオールコートプレスを仕掛けたが、得点にはつながらず、50-61で試合終了となった。

志賀・平松

平成29年7月29日 A② 11:30	大阪市立松虫中学校	14	13	14	16		<b>57</b>
八尾ウイング	豊中市立第十一中学校	15	17	10	9		51

主審：前田智広 副審：西田尚樹

松虫④⑤⑥⑦⑧、豊中11④⑤⑥⑦⑧でスタート。松虫はオールコートマンツーマン、豊中11はハーフコートマンツーマン。松虫は⑦の高確率のジャンプシュートで得点を重ねていく。対する豊中11は⑦が3P、そして、相手のミスから⑧がレイアップを決める。豊中11は⑦がドライブからファウルを誘い、フリースローをすべて決めて14-15で終了。2Qでも松虫は⑦のジャンプシュート、アシストで得点を重ねる。対する豊中11はターンオーバーが目立ち、リズムにのれない状態が続く。残り4分を過ぎたところから豊中11のリバウンドからの速攻が連続で決まり、松虫はたまたまタイムアウトを取る。豊中11⑦の1対1からの得点と速攻により、27-32と豊中11のリードで前半を終える。

3Qは松虫⑧のミドルシュートでスタート。豊中11は④のジャンプシュート、1対1で得点する。松虫は⑦の3P、ドライブ、ジャンプシュートで応戦し、逆転する。豊中11も⑤⑦のドライブで得点し、再逆転し豊中11が1点リードで3Qが終了。4Q開始から互いのディフェンスが厳しくなり、なかなかシュートが決まらない。その中で松虫⑦が1対1から得点を重ね、残り2:38、50-46と松虫がリードを広げたところで豊中11がタイムアウト。その後も松虫は⑦⑧の1対1から確実に得点し、流れを渡さない。追いかける豊中11はオールコートでプレッシャーを強めるが、松虫が落ち着いてボールをキープし、そのまま松虫が逃げ切り57-51でタイムアップ。松虫が2勝目をあげ、近畿大会出場を決めた。

広瀬・濱口

平成29年7月29日 B② 11:30	吹田市立古江台中学校	3	10	7	18		38
八尾ウイング	大阪市立巽中学校	16	11	8	15		50

主審：梅林晃行 副審：亀甲真之介

古江台④⑤⑥⑦⑧、巽④⑤⑥⑦⑧、両チームともにハーフマンツーマンでスタート。両チーム硬さがみられる立ち上がりの中、巽⑥⑦の速攻が決まり、4点を先取する。対する古江台は⑧の1対1からのジャンプシュートなどで応戦するが、3-16と巽がリードして1Qを終える。2Qに入り、古江台が④のバスケットカウント、⑧のリバウンドシュートで追い上げを見せるも、巽の速攻が要所で決まり、なかなか点差が縮まらないまま、13-27と巽リードのまま前半終了。

後半が始まると古江台は⑧を中心に挽回を試みる。しかし巽が⑦のドライブ、④の1対1から⑤への合わせなど多彩な攻撃で主導権を握ったまま15点差で3Qが終了。4Q開始早々から巽④のバスケットカウント、⑦の力強い1対1で古江台はたまたずタイムアウト。巽は最後まで攻撃の手を緩めることなく、38-50で勝利し、近畿大会出場の切符を手にした。

北村・藤原

平成29年7月29日 A④ 14:30	大阪市立巽中学校	9	17	11	17		54
八尾ウイング	大阪市立松虫中学校	11	9	20	16		56

主審：畑迫賢一 副審：浅野祐樹

巽④⑤⑥⑦⑧、松虫④⑤⑥⑦⑧でスタート。巽⑦の3Pで先制。すかさず松虫も⑥の3Pで応戦する。巽は⑦の1対1を中心に⑥のドライブや⑤のインサイドにもボールをいれながら得点していく。対する松虫は⑦の1対1を中心に、合わせを活かした攻撃で得点していく。互いに硬さもあり、1Qを9-11と松虫2点リードで終える。2Qに入り、巽が⑥⑦の1対1、⑤のインサイド、リバウンドからの速攻とバランスよく得点を重ねる。松虫は⑦の1対1で応戦するも、巽の粘り強いディフェンスに苦しみ、前半を20-26と巽が6点リードして終了する。

3Qも前半と同様にバランスよく得点を重ねる巽が11点差までリードを広げるも、松虫⑦が3Pを含む連続得点で2点差まで詰め寄り、巽はたまたずタイムアウトを取る。その後も松虫の勢いは止まらず、3Pでついに逆転する。そのままの流れで3Qで40-37と松虫が3点のリードを奪う。4Qに入って、両チーム⑦を中心に一進一退の攻防が続く中、松虫⑧の2連続3Pで松虫が6点リードする。巽も④が3Pで応戦する。松虫のチームファウルによるフリースローを巽が決めきれない。残り7秒で巽がタイムアウトから⑦の1対1でシュートを放つも決まらず、54-56で松虫が競り勝ち、全勝優勝を果たした。

田川・日美

平成29年7月29日 B④ 14:30	豊中市立第十一中学校	13	18	6	16		53
八尾ウイング	吹田市立古江台中学校	11	8	14	33		66

主審：南野貴志 副審：河崎亮介

豊中11④⑤⑥⑦⑧、古江台④⑤⑥⑦⑧、互いにハーフコートマンツーマンでスタート。出だして古江台が⑧の思い切りのよい3Pと1対1で0-5と先制する。対する豊中11は④⑦のミドルシュートで応戦するが、リングに嫌われる。なかなかフィールドゴールを奪えなかったが、2本のエンドからのセットプレイで流れを渡さない。互いにファウルが多く、それぞれが得たフリースローを確実に決め、13-11と豊中11が2点リードして1Qを終える。2Qでは古江台がシュートまでもっていくものの、豊中11のディフェンスを崩しきれない。豊中11は⑨のドライブ、④の3Pが決まり、18-11となったところで古江台がタイムアウト。その後も豊中11の④⑥⑨が得点を重ね点差を広げるが、古江台も⑥⑨が得点をあげ、31-19で終える。

3Qが始まると古江台が⑧のゴール下での力強いプレイや④の速攻、⑤のミドルシュートなどで巻き返し、37-33と4点差まで差を詰める。4Qは古江台⑧のバスケットカウントからスタート。その後も古江台⑨がドライブからシュートを決め、ついに同点とし、さらに⑧のポストプレイ、3Pが決まり、39-44と逆転する。豊中11は④のフリースロー、⑦の2本の3P、⑨の速攻で譲らない。残り2:26、古江台2点リードで古江台がタイムアウトを取る。タイムアウト明けに古江台が⑤のミドルシュート、⑥の3P、⑧のシュートで一気に点差をつけて、53-66で古江台が勝利した。豊中11もチームでしっかり守るディフェンスや、④⑥⑦の個人技が光る素晴らしいチームであった。

京塚・板野